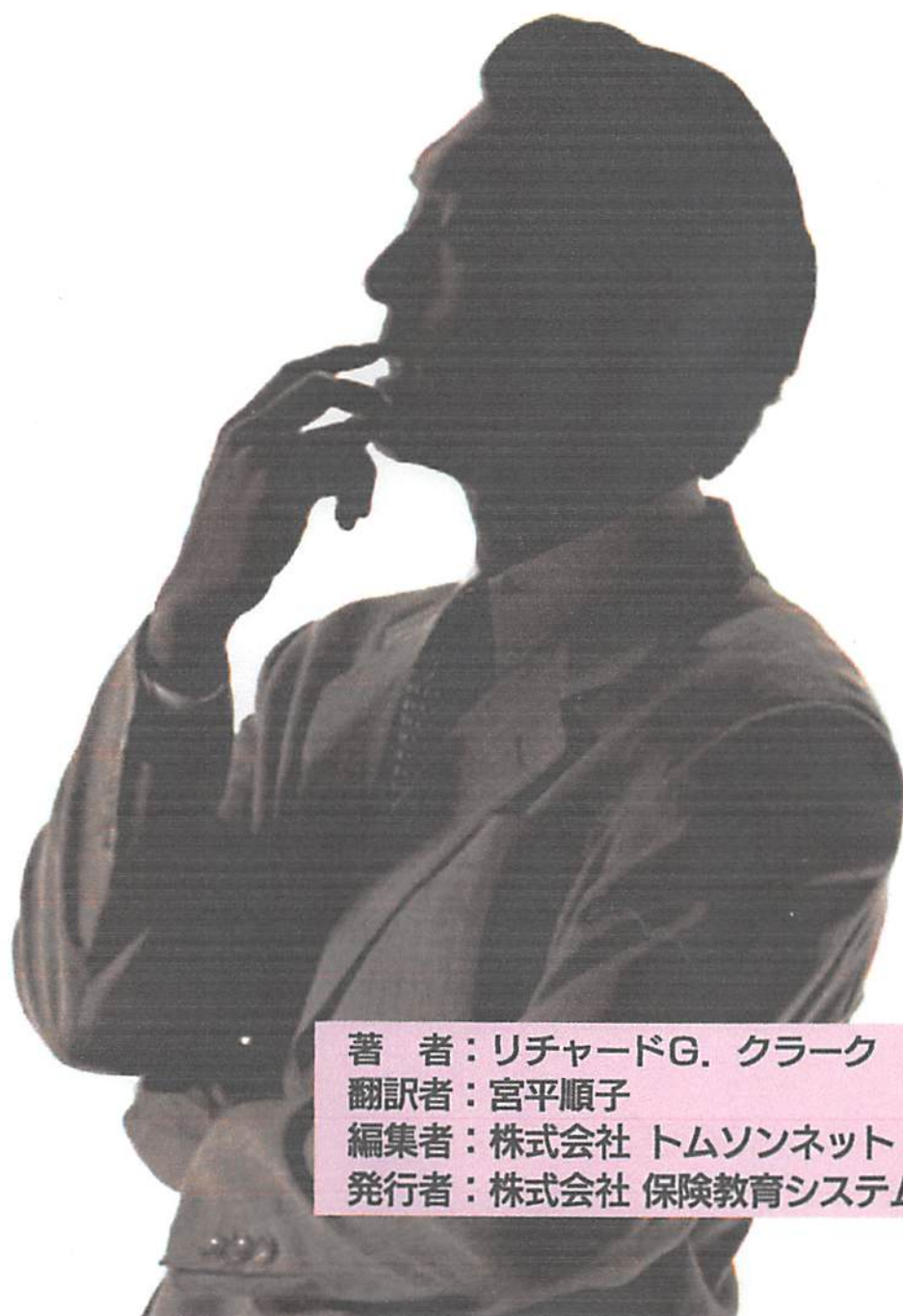


Executive Liability Insurance

会社経営トップの 賠償責任と保険

第5版
2013.09



著者：リチャードG. クラーク
翻訳者：宮平順子
編集者：株式会社 トムソンネット
発行者：株式会社 保険教育システム研究所

目次

著者から日本の読者へのメッセージ	4
訳者の一言 — 「会社経営トップの賠償責任と保険」を訳すにあたって	5
トムソンネットのご挨拶	6
役員賠償責任保険：基礎から専門アプローチまで	7
まえがき	8
第一章 過去と将来をみすえて	9
■ 経済環境悪化の保険業界への影響	11
■ 役員保護保険のソフト化は続く	11
■ 役員保護関連の特殊保険商品	12
■ 2011 年以後の見通し	13
第二章 役員賠償責任 (D&O) のリスクと保険	15
■ リスクの起源と発展そして、その保険	16
■ D&O 保険の目的	16
■ 2002 年のサーベインス・オックスレー (SARBANES-OXLEY SARBOX) 法	18
■ 2010 年のドッド・フランク (DODD-FRANK) ウォール街改革と消費者保護法	19
■ 企業組織構成で決まる D&O の引受内容	20
■ D&O 保険がクレームをカバーする条件	22
内規の費用還付と D&O 保険約款の文言	23
■ 標準的な D&O 保険証券の内容について	24
■ D&O クレームの源泉は何か?	25
■ 基本の D&O 保険を最大限に活用する方法	25
■ 結論	25
参考論文① D&O 保険を解剖すると	26
参考論文② 揺れる保険市場の中で D&O 保険の更改をする時	27
参考論文③ 基本的な D&O のリスク管理のために	29
参考論文④ 決断する役員保護のために — 非上場企業の観点で	31
白書 従来の D&O 保険に替えて	36
D&O の填補額を決めるヒント	39
【資料 1】 営利会社の D&O 保険の早わかりチェックリスト	40
【資料 2】 株主代表訴訟関連で会社の係争費用払戻し規定 (各州)	43
【資料 3】 D&O についての主な情報源	44
【資料 4】 D&O 実態調査報告	45

第三章 雇用慣行賠償責任 (EPL) のリスクと保険	47
■ 関連立法.....	49
■ 保険引受の進化.....	50
■ 単独EPL保険証券と、パッケージ (D&O等と) の一部となった場合の比較.....	50
■ 価値を高めるEPLの引受範囲拡張.....	51
■ 弁護士の選定.....	52
■ 人口動態の変化.....	52
■ マーケットの見通し.....	53
■ EPL関連の危険な思い込みに注意.....	54
■ 結論.....	54
EPLのリスク管理の基礎 — 予防のために.....	55
(参考論文⑤) EPL保険 — 引受内容を充実させるには.....	56
【資料5】 EPL保険の早わかりチェックリスト.....	60
【資料6】 米国機会均等法委員会 クレーム統計.....	62
【資料7】 雇用上影響を与える連邦法の主だったもの — 雇用慣行と受託者としての賠償責任のリスク範囲 —.....	63
【資料8】 懲罰額の保険引受の各州規定.....	69
第四章 受託者賠償責任* (Fiduciary [ERISA] Liability) のリスクと保険 ...	71
■ 従業員の老齢年金基金への漠たる不安.....	72
■ ERISAの目的.....	73
■ 「受託者」の個人賠償責任.....	73
■ ERISA強制保険の内容.....	74
■ 受託者賠償責任保険で引受けるリスク.....	74
■ 健康積立口座 (Health Savings Accounts HSAs) が雇用者の賠償責任に与える影響 ..	76
■ 2010年の「患者保護と適正額医療法」の受託者賠償責任への影響.....	76
■ 受託者賠償責任保険が含むべき項目.....	78
■ マネジドケア (Managed Care) の賠償責任について.....	78
■ マーケットの見通し.....	79
■ 結論.....	79
受託者賠償責任のリスク管理の基本点.....	81
(参考論文⑥) 受託者賠償責任 — 経営管理リスクで最も誤解される分野.....	82
【資料9】 受託者賠償責任保険の早わかり 10ポイント・チェックリスト.....	87

付録 参考論文集	89
バミューダ保険市場を有効に使うために	90
非営利団体にとって重要な保険プログラム、一般ガイド	97
特別寄稿 サイバー保険で一番良い保険は?	103
著者略歴	110

トムソンネットのご挨拶

Executive Liability の編集にあたって

日本における損保代理店にとって、学習教材や研修カリキュラムは保険会社から提供されるモノが殆どです。

新規に代理店として参入する場合はともかく、代理店として保険会社から自立して行こうとする代理店にとっては、寧ろ、既存保険会社とは別個に代理店のための独自の教材、研修カリキュラムが必要になって来ると思われます。特に、企業マーケットを扱う独立系（乗合型）代理店の活躍が期待される昨今では、そのニーズが高くなっていると思われます。

こうした背景をもとに独立系代理店のニーズに応えるため、今般、米国の保険代理店研修教材を提供している「NARA」が出版している教材の中から「Executive Liability」を選び、これを日本語翻訳して日本の独立系代理店向け教材として出版を行うことになりました。日本においても今後、これらの会社経営者のリスクをカバーする保険商品へのニーズは急速に高まっていくものと考えます。

本誌は、米国の法令、慣習のもとに開発された会社経営者のための賠償責任保険商品の解説とその引き受けにあたっての実務を紹介したのですが、日本の保険ビジネスにおいても示唆に富む点が多く、実務に携わる代理店や保険会社社員のみならず保険研究者にとっても大変参考になる教材であると確信します。

今般の出版にあたっては、米国で使われている「保険用語」の忠実な翻訳が、日本の読者にとって理解しやすいものとなっているかどうかという視点を第一に考え、翻訳者との意思疎通を図りながら編集作業を行いました。読者のみなさんが本誌から多くのヒントを得、今後の保険ビジネスに生かされんことを切に願うものであります。

2013年7月

編集者（トムソンネット）

編集員 小島修也

鈴木 治

村上公祥